



生徒一人一人のよさを見極め、称賛し、夢と希望を育む学校

南中だより 7月号

羽生市立南中学校

令和8年 6月30日発行

「続ける力」と「つなげる力」

校長 石川 和明

3年生たちが再び成し遂げてくれました。6月11日(木)から13日(土)まで、修学旅行(京都・奈良)に行ってきました。中学校生活で身につけたすべてのことを生かして、初めて訪れる場所で、自分たちの力で活動しなければならない、正に一人一人の「考動力」が試される3日間でした。実行委員を中心に「一人ひとりが自分のあるべき場所で考動し、成長した姿で周囲を照らし導けるようになること」を意識して、常に高みを目指して、仲間に対して、そして自分自身に対して、理想を求め続けて、反省と努力を繰り返してくれました。班別行動や部屋での生活において、仲間の思いを受け止め、そして仲間に自分の思いを伝える場面を数多く見る事ができました。この3日間で得られたものがたくさんあり、一人一人が多くの成長を遂げたと思います。



体育祭で実行委員長さんの言葉に「体育祭の成功を次につなげましょう」という言葉がありました。そして今回も、帰りのバス内での実行委員さんからの言葉の中に「今回の経験を次の行事に、そして普段の生活にもつなげていきましょう」という言葉がありました。3年生にとって中学時代の「体育祭」や「修学旅行」は二度とありません。部活動も同じです。悔いが残っても同じことを「次こそは」と続けられることと続けられないことがあります。続けられないときはどうするか？

「続ける」のではなく、「つなげる」のです。全校生徒の皆さんがこの2人の言葉から学ぶべきことは、「次につなげる」ことの大切さです。

続けて取り組んだことで成し遂げ、得られた教訓を「つなげる」には、「次の自分自身につなげること」と「後輩たちにつなげること」の2つの意味があると思います。まさしく、これからの南中学校の合言葉は「次につなげる」です。上手につなげるポイントは、

1. 謙虚な姿勢とプラス思考。

2. 「結果とそれまでの取組を合わせて振り返る力」と「決してあきらめない、決して満足しきらない、向上心を持って改善する力」です。

1, 2年生の皆さんも、これまでの経験をどのように振り返り、これからの自分にどうつなげていくかを考えてください。(すでに実践している人もいることでしょう。)

すでに部活動は多くの部が代替わりし、2学期に入ると様々なことが2年生を中心に進められていくことになります。3年生にとっては「1, 2年生にどうつなげるか」ですが、1, 2年生にとっては「どのように引き継ぐか」が肝心です。この7月、8月は1, 2年生にとっても次のステージへの準備期間であり、意識を変える期間となります。



ご家庭でもお子様の「目の前の一つ一つの物事に対する全力の取組」と「一つ一つの結果を前向きに次につなげる気持ちの切り替え」について、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

日	曜日	予 定	日	曜日	予 定
1	水	登校指導日	16	木	学期末特別日課 (3時間)
2	木	ミニ販売会 (6789組) 部活動中止	17	金	終業式 (部活動中止)
3	金	ミニ販売会 (6789組)	18	土	
4	土		19	日	
5	日		20	月	海の日
6	月	6時間 月例費引き落とし	21	火	夏季休業日 (8月28日まで)
7	火	非行防止教室⑥	22	水	三者面談及び家庭・表札訪問
8	水	学校総合体育大会代表者会議	23	木	(7月31日まで)
9	木		24	金	
10	金		25	土	
11	土		26	日	
12	日		27	月	
13	月	学期末特別日課 (5時間)	28	火	
14	火	学期末特別日課 (5時間)	29	水	
15	水	学期末特別日課 (4時間) 大掃除③④ 給食終了	30	木	
			31	金	

自己啓発の日 : 1日、8日、15日

下校指導 : 1日、8日、15日